「孫はおらんどうの夢」

出番です！おじいちゃんおばあちゃん

下道　宏志さん（75歳・黒崎）

《259》

★…苦労の思い出の一番は、高等科に通うため朝の六時半に、家を出ないばなんながったごどだなんすう。普代までの八キロの山道路は、何にもたとえようがないぐらい大変だったが。★…つらいごどはかなりあったども、自己流でブロックのコデの使い方を習って、七十二歳まで若い人んどうど稼ぐごどができます。★…なによりうれしいごどは、孫が去年の四月、大学を出で県職員になったごど。今は、久慈病院の事務所にいますん。孫はおらんどうさ夢を運んできてくれますたあ。

「普代の植物散歩」⑭

オオイヌノフグリ（ゴマノハグサ科）

大森　竹之助さん（71歳・久慈市在住）

オオイヌノフグリは寒中でも青々して見える。さすが寒いのであろう幾分枯れ葉が混じっているけれども、すぐに花を咲かせるそぶりである。気温は零下七度にまで下がるのに、びくともしない生命力は驚くばかりである。

この花は、日当たりのいい土手、道端、水田の畦、ぽとりとした山のふもとなど、普代のどこにでも生えている。雪が降ってもすぐ消えるところ、冷たい風が吹いてもそこだけが暖かいというところがあって、そこをオオイヌノフグリは見逃すことなく、ちゃんと自分の席をとっている。

三月下旬鳥茂渡小学校の道に面した傾斜に、同じ科のイヌノフグリが見えていた、花はまだである。ここから少し進んで右側にきちんと積んだ石垣がある。この中段のスペースは花壇と見えて、花らしき枯れ茎が残っていて、合い間にオオイヌノフグリがあった。まわりの残雪は余計に厚い層にみえて、花と雪のアンバランスの中に、よろしき自然の調和をみる思いがする。普代の北浜にもイヌノフグリはあった。潮風のあたりが弱い、日当たりのよさそうな、そんなところである。

芦渡周辺（写真：大森さん提供）

オオイヌフグリは、明治の初めに渡来した帰化植物、越年草で全体に軟毛がある。茎は下部で分かれ地上をはって、約三十センチ四方に広がる。花の中心部は白く、外側に紫、そして紺色と直径八ミリほどの、たくさんの花をつける。寒くても日差しがあれば花は咲き、晴天で気温の低い日や夜間はすぼむ。イヌフグリの花は淡いピンクに赤紫色の筋がある。花はオオイヌノフグリに比べて遅く咲く。

文芸の世界

川柳（575）

川柳愛好会 三月例会作品

負けないぞ私にだって意地がある　嵯峨　待女

究極の技を磨いて目指す金

ブレーキの効かない老いの世迷い言　三上　翠香

丁重なおもてなし受け恐縮し

手相見てよいこと言われ気分晴れ

親と子の理想が違う進学期　深渡　汀女

新入りの世代交代春便り

今日も鳴く捌け口探し朝がらす

丁重に押し頂いたこの友情　太長根英子

低音でドスをきかせて脅す気か

連敗を続ける馬が元気くれ

究極の味おふくろの題かげん　加差野静浪

ブレーキを踏んで心を引き締める

ライバルに負けてピエロを演じ切る

新入りが歯の浮くような話する